

令和7年第3回定例会

委員会審査報告書

総務企画常任委員会

教育厚生常任委員会

産業建設常任委員会

委員会審査報告書

本委員会に付託の事件は審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

令和7年9月18日

総務企画常任委員会 委員長 佐藤芳雄

大仙市議会議長 古谷武美様

記

事件の番号	件名	審査の結果
議案第85号	大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第86号	大仙市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第90号	財産の譲与について	原案可決
議案第95号	令和7年度大仙市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第96号	令和6年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第105号	令和6年度大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第106号	令和6年度大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第107号	令和6年度大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第108号	令和6年度大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第109号	令和6年度大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第110号	令和6年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定

決算審査に対する意見

- ① 庁舎整備基金の積立については、必要となる経費をできる限り早期に具体化し、その水準を踏まえて積み立てを行われたい。
- ② アーカイブズについては、文書整理完了の目標年限に向け、効率的な作業体制を模索しつつ進められたい。あわせて、古文書等のデジタル化を一層推進するとともに、将来、保管容量が不足する場合に備えた対応についても検討されたい。
- ③ 地域公共交通については、アンケートや聞き取りなどによる調査を継続し、変化する市民ニーズを的確に把握しながら、適宜、交通体系の見直しに反映されたい。住民の共助による移動支援については、完全なボランティアでは継続が難しくなることも考えられることから、ドライバーへの報酬などの必要経費を踏まえた適切な利用者負担を念頭に、仕組みづくりを検討されたい。また、観光部局と連携し、観光客の移動利便性を高める取組を戦略的に進められたい。
- ④ 移住定住施策については、新たな移住者を呼び込むだけでなく、移住して定住した方を含め、既に大仙市に居住している方々に住み続けたいと思っただけのような取組もあわせて展開することが重要であり、庁内で連携しながら検討を進め、次期アクションプランに反映されたい。

陳 情 審 査 報 告 書

本委員会に付託の陳情を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第140条第1項並びに第142条の規定により報告します。

令和7年9月18日

総務企画常任委員会 委員長 佐藤 芳雄

大仙市議会議長 古谷 武美 様

記

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	委員会の意見	審査結果	措置
56	R7.1.17	「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書	秋田市山王6-2-7 秋田弁護士会 会長 石田 英憲	願意妥	採択	
61	R7.5.15	再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情書	秋田市中通7丁目2-21 3階 再審法の改正をめざす秋田の会 弁護士 有働 悠一 外4	一部に賛成 (1)(3)	一部採択 (1)(3)	(2)の文言を替えて意見書送付
62	R7.7.22	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情	大仙市大曲上大町10-22 連合秋田大曲地域協議会 議長 鈴木 幹	願意妥	採択	

委員会審査報告書

本委員会に付託の事件は審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

令和7年9月18日

教育厚生常任委員会 委員長 山谷喜元

大仙市議会議長 古谷武美 様

記

事件の番号	件名	審査の結果
議案第87号	大仙市大曲墓園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第91号	財産の取得について（大曲地域教職員用端末機器）	原案可決
議案第92号	財産の取得について（東部地域教職員用端末機器）	原案可決
議案第93号	財産の取得について（西部地域教職員用端末機器）	原案可決
議案第95号	令和7年度大仙市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第96号	令和6年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第97号	令和6年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第98号	令和6年度大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第99号	令和6年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第100号	令和6年度大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第103号	令和6年度大仙市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第111号	令和6年度市立大曲病院事業会計決算の認定について	認定

決算審査に対する意見

- ① 債権管理については、収納率や取立額において、令和6年度目標を達成するとともに過去最高値を更新したほか、県内市町村と比較しても大きな成果を上げており、市の財源確保に大きく寄与していると評価できる。引き続き、令和7年度から開始した収納支援業務委託の成果も検証しながら、適正かつ効果的な債権管理を、より一層進められたい。

- ② 決算事業説明書については、事業費の具体的な内訳が十分に示されていないものが見受けられる。事業の妥当性や費用対効果を適切に評価し、議会審査をより充実させるため、今後は、必要に応じて事業費内の主要経費の内訳を示し提出されたい。

委員会審査報告書

本委員会に付託の事件は審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

令和7年9月18日

産業建設常任委員会 委員長 挽野利恵

大仙市議会議長 古谷武美様

記

事件の番号	件名	審査の結果
議案第88号	大仙市水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第89号	大仙市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第94号	令和6年度大仙市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第95号	令和7年度大仙市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第96号	令和6年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第101号	令和6年度大仙市企業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第102号	令和6年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第104号	令和6年度大仙市小水力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第112号	令和6年度大仙市上水道事業会計決算の認定について	認定
議案第113号	令和6年度大仙市簡易水道事業会計決算の認定について	認定
議案第114号	令和6年度大仙市下水道事業会計決算の認定について	認定

決算審査に対する意見

- ① 「農業と食」活性化推進事業において、さまざまなPR活動を行っただろうが、その結果から生まれた事業効果や成果についてのチェック、検証が足りないように感じる。ステップアップするためにも、事業実施後の変化について更なる検証を検討されたい。
- ② 「大豆産地化推進事業費」について、現在大仙市統一の基準単収を基に助成金等の積算をしていると思うが、平場と中山間地域では不公平感が生じている状況にある。地域にあった基準単収の設定など検討を図られたい。
- ③ 「畜産振興費」に関連して、秋田県立大曲農業高等学校畜産部が令和9年に開催される北海道全共に向け、秋田県を中心にさまざまな支援体制がとられており、市でも関係団体と連携し支援していることは評価するが、今後さらに後方支援を推し進めるべく、金銭面など見える形での支援策について検討されたい。
- ④ 「大仙市入社準備助成金」について、目標と実績が乖離しており、周知強化や助成対象内容の緩和など若年層の地元定着に寄与されるよう事業内容を検証されたい。
- ⑤ 「中心市街地賑わい創出事業費」について、のびのびらんどの管理運営を大仙市観光物産協会に委託しているが、利用者が年々減少しており、地元の商店街に貸付け、必要ときだけ活用してもらおうなど、管理運営業務の見直しに努められたい。
- ⑥ 「若者チャレンジ応援プロジェクト事業費」について、土壌づくりや人材づくりそれぞれにおいて事業展開されていることは評価するが、この事業のようにPR活動や情報発信が肝となっている事業については、それをやった結果どういった反応があったのかについても事業説明書に記載するよう努められたい。
- ⑦ 「インバウンド観光事業費」について、外国人から実際に来ていただくのは良いが、受入体制が整っていないければ、事業として伸展が期待できない。飲食店での多言語表記や観光ガイド対応など、さらなる受入体制の整備を進められたい。
- ⑧ 「大仙市産地酒プロモーション支援事業費」について、酒米等の原材料高騰による市産地酒の値上がりにより、酒蔵の経営も苦慮することが予想され、輸出となればさらにコスト高が見込まれる。大仙市の魅力を発信する有効な取組であることから、今後もこの事業を継続する場合は、市内酒蔵ともよく協議され事業を進められたい。
- ⑨ 旧町村時代の同時期に建設した各温泉施設は築20年以上が経過しており、同時期に修繕が必要になっている。このまま全ての温泉施設を存続していくことは厳しく、その存廃を明確化しなければいけない時期になっているのではないかと思料する。今後検討されたい。
- ⑩ 屋内も屋外も含めて市内全ての体育施設が今後も現状のまま存続していくことは困難であると考え。少子化・人口減少も進んでいることから、地域性に意を配しつつ、体育施設や温泉施設など分野を越えた市全体の最適な施設配置を目指す将来構想をまとめる

時期に来ていると感じている。施設を廃止することは当然地元住民の方々からの反対もあろうかと思うが、いつかは誰かがやらなければならないので、今後検討されたい。

- ⑪ 公園施設に限らないが、市内公共施設では何年も修繕されずに使えない箇所が見受けられる。手洗い場やトイレについては優先して修繕しなければ利用率低下にもつながる事が懸念されることに加え、「使用禁止」や「使用厳禁」と上から目線とも思える貼り紙をしている施設もある。自分たちの管理が悪い、使える状態にしておかなければならない、そういう気持ちを持ち、早急な改善に努められたい。
- ⑫ 公営住宅について、入居募集を実施しても応募者がおらず、空き住戸が発生している現状について何かしらの対策を施すべきと考える。現在募集期間は区切っておこなっているとのことだが、住宅使用料は市にとっても収入となることから、入居募集を常時することが事務手続き上難しいのであれば、可能な限り募集する機会を増やし、空き住戸解消に向けた取り組みに努められたい。
- ⑬ 上水道事業会計の決算状況については、非常に優良であり、評価したい。玉川浄水場の更新時期を迎えていると思うが、最近は工事費も高騰してきているため、それを踏まえた適切な積立金の積立と運用に努められたい。(経営管理課)
- ⑭ 下水道処理場の統廃合計画に取り組まれているが、資材高騰や人件費の上昇に加え人口減少や将来的な管路の損傷対応などさまざまな課題があるなか、長期的な運営が必要な事業であり、無くしてはならない施設であるため、綿密な計画を立て取り組まれたい。
(下水道課)

陳 情 審 査 報 告 書

本委員会に付託の陳情を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第140条第1項並びに第142条の規定により報告します。

令和7年9月18日

産業建設常任委員会 委員長 挽 野 利 恵

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

記

受理 番号	受 理 年月日	件 名	陳情者の住所・氏名	委員会 の意見	審 査 結 果	措置
63	R7.7.25	水路の護岸の修復に関する陳情	大仙市高梨字上川原 187-1 代表 伊藤 一与志 ほか14名	願 意 不 適 当	不採択	